

# 会 議 録

## 1 会議名

令和7年度第11回吉川区地域協議会

## 2 会長挨拶

## 3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・自主的な審議（公開）

（1）自主的審議事項について

（2）その他

## 4 その他（公開）

・次回地域協議会日程について

・その他

## 5 開催日時

令和8年3月19日（木）午後6時30分から午後8時55分まで

## 6 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

## 7 傍聴人の数

0人

## 8 非公開の理由

なし

## 9 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

委員：山岸会長、薄波副会長、太田委員、大滝委員、斉藤委員、関澤委員、  
田邊委員、新部委員、橋爪委員、武藤委員

事務局：吉川区総合事務所 岩野所長、山本次長、渡邊市民生活・福祉グループ  
長（教育・文化グループ長兼務）、道場総務・地域振興グループ副主幹  
資産活用課 竹下課長

吉川区総合事務所 久保埜産業建設業務窓口班、吉田税・市民生活班  
長、廣川福祉班長、五十嵐教育・文化班長

## 10 発言の内容（要旨）

### 【山本次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 委員 10 人の出席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：田邊委員

### 【山岸会長】

（挨拶）

### 【山本次長】

- ・ 議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

### 【山岸会長】

- ・ それでは、3 の報告事項から入る。始めに、会長報告。私から 3 点ほど話をしたいと思う。まずは、2 月 18 日に頸北 4 区の地域協議会正副会長と小菅市長との懇談会、交流会をさせていただいた。市長とは何度かほかの会でもご一緒させてもらっているが、地域協議会として市長と意見交換するのは初めてだったので、ほかの協議会長さんには「今日は山岸さんの一人舞台だね」と言われるくらいちょっと発言が多かったのだが、市長が代わったということで、やはり消火栓の部分で前に進めたいなということを強く申し上げている。これは、後ほどまた自主的な審議で話したいと思うが、そんな会合に出席してきた。
- ・ 次に 2 月 26 日の社会福祉協議会の会議で、副会長の薄波さんと委員の橋爪さんも正副会長になっている吉川区地域福祉活動計画実施委員会という会議に出席してきた。区内の各団体長から、団体の活動についての実施報告という部分があって、その団体の中に地域協議会も入れていただいているが、広報というか情報発信は定期的に出している全戸配布の地域協議会だよりがあるし、ほかの団体との交流という形で活動の取組の方向を示してあるが、前回の会議でも出張協議会をしてはどうだという意見も出ていたが、私たちはとにかく全戸に配布したアンケートをいただいているので、そちらが一番、基になるのかと思っているし、2 期、3 期前は、出張協議会もやっていたので、その部分の話をこの会議でさせてもらった。私たちは実行団体にはなれないが、こんな言い方をすると語弊があるかもしれな

いが、地域協議会という立ち位置をちょっと違う部分があるのではないかと私は思っているので、そんな会議の中で各団体の評価、活動実績の評価みたいなものがあったが、一生懸命やっていますよという部分で話をしたつもりでいる。

- ・もう1点は、つい最近あった、新酒を祝う会。こちらも毎年やっているが、区内の皆さんへ案内すると同時に各政治家というか、高鳥衆議院議員をはじめ、県議会議員と市議会議員。そういう方々と同席して、当然、小菅市長も来ておられたので、若干親しく交流をさせていただいた。以上のようなところへ出席をさせていただいた。
- ・今日、欠席になっている上野委員も手術が終わって退院されて自宅療養に入っているが、今日は消防団の方面隊長として、ほかの方面隊長とも一緒に消防署との会議があるということで今日は欠席になっている。次回からは出席していただければと思っているので、また皆さんよろしくお願ひしたいと思う。
- ・私の報告は以上である。次に委員報告だが、委員で何かあったらお願ひする。いかがか。

(発言なし)

- ・なければ、事務局報告になる。よろしくお願ひする。

#### 【山本次長】

- ・事務局から2点報告がある。始めに、上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応(案)について報告する。説明は、担当課の資産活用課が行う。

#### 【竹下資産活用課長】

(資料1「上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の対応(案)」、資料1-2「参考資料」、資料1-3「公の施設白書」により説明)

#### 【山岸会長】

- ・説明をいただいた。皆さんから、意見、質問があればお願ひする。

#### 【太田委員】

- ・いろいろと施設の見直しを聞かせてもらったが、小学校、中学校は、もうこの先に入學する子どもが何人いて、ということは読めると思う。そういうのは市で、ある程度こうしようかということがあれば教えていただきたいと思うし、ほかの施設は何とかなるけれども学校関係だけは。これから若い人たちも希望をもって学校へ入ってくる人もいるのだろうが、学校が無くなったりそういう諸問題もなかなか

か障害になってくるとここから離れていく人が多くなる。それで、もちろん市としても子どもの数がこれだけ減っているという情報は持っていると思うので、その辺を教えてもらえたらと思う。

#### 【竹下資産活用課長】

- ・ 公の施設の適正配置計画は、市の公の施設全部について策定することとなっている。それからいくと、612 施設の全ての方向性を同一の考え方で検討していかなければならないという状況である。ただ、小中学校や公営住宅などは特定の利用者のための施設であり、ほかの貸館やスポーツ施設と同じ土俵で考えることがふさわしくないということで、今まで別に検討を進めていた。皆様ご承知のとおり、小学校、中学校の統合については、市からいろいろ問題、課題があるという部分は地域の方々にも投げかけをさせていただきつつ、また、地域でもいろいろな検討をしていただいている、地域から統合を考えていきたいとか、そういった声が上がった地域から、この間、統合を進めさせていただいてきた状況である。その結果が、大浦安地区の例えば中学校の統合や三和区の小学校の統合、今話が出ているところでは、柿崎区内の小学校の統合、そういった話も出ているような状況である。ただ、施設管理を所管している課からすると、正直それを別々に検討しているのかというのがあり、例えば柿崎区の話だと、保育園も同時に統合の計画が出ている。そういう面で統合がどこでされるかという、街中から外れた所へ保育園をつくるという計画になっている。小学校はどこかという街中で、それからすると保育園を一回外へ出して、小学校は例えば街中にもってきてとか、また、今話題になっているのは、牧区の中学校の統合、そういった話も現実的な話が出ていて、牧中学校がどこと統合するのかと、雄志中学校であり合併前上越市の街中に近い所の中学校と統合すると、そういった話も出ているような状況である。学校は学校だけで適正配置をやっていくと、まさにその地域や一定のエリアに残すべき機能がその地域やエリアを飛び越えた統合にも進んでいき、そうすると地域やエリアに必要な施設というものがバラバラになってしまう。ただ、懸念されていることが、小学校が無くなって中学校が無くなってという話になると、若い世代がそこに家を建てて子育てするのかとか、今まで本当に 10 分、5 分で歩いて行けた所が場合によっては、30 分バスに乗らないと行けなくなる、やはりそういった大きな懸念もあって、施設の適正配置はやはり 1 つ 1 つカテゴリーを分けて考え

るのではなくて、一緒になって考えていかなければならないのではないかと非常に強く思っているところである。次期の適正配置計画、令和13年度以降の適正配置計画を考えるにあたっては、令和9年度から市も地域の皆様方に協議に入らせていただいて、そこでいろいろな情報交換をさせていただきつつ、小中学校を例えば、一緒に検討した方が良いのかどうなのか、そういったこともざっくばらんに話をさせていただきながら、地域の皆様としっかり合意を得ながら、今後の将来の方向性を検討させていただくのがまずもって必要ではないかと考えている。

**【山岸会長】**

- ・ほかにいかがか。

**【橋爪委員】**

- ・計画のスケジュールを見ると、適正管理については、今年の7月に地域協議会に諮問・答申するとあるが、これはそれぞれの地区の施設だけの諮問ということか。吉川区に建っているものだけを吉川区に諮問するのだと思うが、例えば適正配置のところでは、我々は市内の施設を使うことがあるわけだが、そういうところに対しては、我々への説明やパブリックコメントはあるにせよ、諮問とかそういうところの地域協議会としての意見はどこで出せるようになるのか。

**【竹下資産活用課長】**

- ・適正配置計画については、条例改正を直ぐにする案件ではないので、答申・諮問事項にはなっていない。また、適正配置、適正管理も、こちらの地域自治区に関する条例の中でも将来的には該当する公の施設について、例えば諮問いただいたり、答申いただいたり、説明させていただいているのが実情であり、吉川区の案件のみ取り扱いをさせていただいている。その中で適正配置は、広く上越市内の幅広い施設をそれぞれの区の方々からご利用いただいているので、なるべく適正配置の説明には、全市的な適正配置の状況も併せて資料としてお持ちさせていただいて、ご意見をいただけるのであればいただいて、反映はさせていただきたいと考えている。

**【橋爪委員】**

- ・流れは分かったが、今までの流れというと、協議会で意見を述べてもあまり上に上がらない、通らないというのが私の感想なのだが。ただ、もう「ありき」で来られるような感じがちょっとしているのだが、ここでいう条例の部分、適正配置の部

分を本当に意見を協議会で述べたところで、本当に上がるのだろうかと心配なのだが。

**【竹下資産活用課長】**

- ・昔の適正配置の取組だと計画で決まったことは、いずれは実施の段階では条例改正をしないと公の施設が廃止できない状況となるので、その段階ではしっかり地域協議会、また、改めて地元の皆様にも説明させていただいて、そこで2回目の議論をさせていただいた上で、止めるのであれば止めると、そういった流れになるように配慮させていただいている。今回の話だと、令和8年度内にまずは適正配置計画を策定させていただくが、実際、令和10年度に施設を統合するような話になると、令和10年度の時点で改めて関係者の皆様と協議をさせていただいて、地域協議会に条例廃止の諮問・答申を出させていただき、そこで合意を得られて初めて条例廃止に向かっていくと、そういった2段階的な取組で実施させていただいている。さらに言うと、今、適正配置の前期計画の中では、吉川区内の公民館や生涯学習センターが結構な数を供用廃止する予定であったが、令和5年、6年で総合事務所から地域の実情を伺っているし、地域協議会の皆様からもご意見をいただく中で、すべての施設を廃止したわけではなく、例えば2つあるのであれば1つを残していこうとか、そういった柔軟に協議をさせていただいて、最終的な判断をさせていただくような機会を必ず設けさせていただいている。その辺は計画策定、また、諮問・答申の時点でも皆様と十分協議をさせていただきながら、最終的な判断につながせていただきたいと思います。

**【橋爪委員】**

- ・流れはよく分かった。

**【山岸会長】**

- ・ほかにいかがか。

(発言なし)

- ・では、私の方でお願いしたいと思う。資料1-3の道の駅だが、「観光施設、木造」とあるのは、杜氏の郷を外した四季菜の郷の部分のことなのか。それで、ひとつ残念に思うのは、「現状維持」ではなくて、当協議会で自主的審議事項でもやっているが、道の駅全体を市としてどう取り扱うかという部分、これが現状維持ではがっかりだ。緑地も含めてここにもっと重点的に、要は観光資源を吉川区の宝だと

思っているので、しっかり活かせるような手立てを担当課も自分の担当部署だけでなく道の駅を活性化できるような、そういう動きをしていただけないものかと望んでいるのだが、いかがか。

#### 【竹下資産活用課長】

- ・公の施設としての道の駅には、よしかわ杜氏の郷の建物は入っていない。常々会長からもご意見をいただいているが、私も前任で道の駅には携わっていた部分であるが、やはり残していく施設をどうやって利活用していくのかというのは、現状維持ではなくて具体的にどうして行くのかというのを合わせて考えていかないと、結果として現状維持は、何もしないと、そういった状況になりかねない。残していく施設を現状維持という方向性で簡単に記載をさせていただいているが、それに合わせた利用促進策をどうしていくのかとか、利活用をどうしていくのかとかというのを合わせて検討するような取組につなげていきたいと考えている。

#### 【山岸会長】

- ・さらに言えば、集約するいろいろな公の施設を無くした機能を新たに道の駅に拠点として作れないものかというようなアイデアも含めて考えていただければ、あそこはもっと生きてくるのではないかと思うし、もう一つ、これは余計な話かもしれないが、この前、講演会を聞いて私も思ったのだが、学校が廃校になったりいろいろな施設が無くなって、その無くなった施設をどうやって利活用するかという部分を要はお金を稼げる施設の在り方、閉じてたたんで更地にしていくだけを考えるのではなくて、あったものをもっと方向性、見方を変えて活用する考えは起きないものか。例えば旧竹直小学校は、公文書もなくなってエアコンも止まってどんどん朽ちていく状況に陥っている。公民館分館も廃止して普通財産になっている。旧竹直小学校は、道の駅のすぐそばの施設で、耐震強化していないからだめなのだろうと思うが、私は、ゆっつりの郷にいた経験からしても、宿泊施設が無いと、お客さんに良く言われていた。あの施設が、もしそういうふうリニューアルできて、あそこに泊まる客がいたら、これはいいんじゃないかなと思ったりもした。今更遅いと思うが、今、これから無くなっていくそういう施設を何かそういうきっかけをもって、稼げる施設にぜひ行政側も考えていただきたい。当然民間も考えなくてはいけないのだが、行政はそれを職務の中で考える立場にいるので、我々が時間を費やしてどうのこうのというよりはもっと集中してできるはずなので、ぜひ、そういう

前向きな取組をお願いしたいと思う。

- ・さらにもう一つ。私はスポーツ団体をやっているのですが、先ほど減免の見直しというその部分の言葉を非常に痛く感じていて、スポーツ都市宣言までしている上越市であるが、スポーツ施設も受益者負担という名のもとに使っていない人から税金を取っているからどうのこうのという言い方というのは、私はいかがなものかと思った。私に言わせれば、使わない自由もある、当然使う自由もあるが、使わない自由もある。これは、公の施設は全てそうだと思う。だから、使わない人が税負担があるからそれは不公平ですという、それは違うと思う。私達は、青少年健全育成の関係で減免いただいているが、やはりどこからアスリートが生まれるか分からない。特に、青少年、子どもたちは、どんな能力を秘めているか、これを伸ばすか潰してしまうかは大人の責任であるし、公の施設の中にスポーツ施設があるので、できるだけその部分はしっかり残していただいて、芽を摘まないように本当にお願ひしたいと思う。お願ひする。

#### 【竹下資産活用課長】

- ・まず、廃校の部分だが、旧竹直小学校については、地元からも取り壊しの要望をいただいている、令和8年度予算で取り壊しの予算を計上させてもらっている。小学校、中学校は、全国的に見ても年間400、500校くらいが廃校になっていると、文科省のデータで本当にそのような状況である。上越市においても、近年、小学校も中学校も統廃合が進んでいる。何もしないと壊すまでの維持管理経費がかかり、さらにまた、取り壊しのために1億円単位のお金がかかってくるのが実情である。私も資産活用課に来て、まず、やはり廃校自体をどうしなければいけないのか、利活用できるのであれば当然利活用していく道を探っていく、そういった取組をさせていただいた。令和7年度には、今現在、廃校になっている15校を民間の市場調査を実施させてもらった。その中では、4校に7つの提案があり、こういうふうにやれば利活用できるのではないかという提案もいただいたところである。その中で具体性があった旧安塚中学校については、利活用事業者を募集させていただくプロポーザルを今、実施させていただいて、来週、プロポーザルの事業者を選定する委員会を開催させていただく予定になっている。全国的に見ても、一定程度魅力的な事業を行っていただいている事業者もいるので、まずは、廃校の情報を上越市内だけではなく、幅広く全国に情報発信して、市としても協力する、例

えば地元としても協力すると、そういった姿勢を打ち出す中で、まずは興味を持っていただいて、利活用につなげていきたいと考えている。

- ・また、減免の話だが、児童、生徒、青少年健全育成のための減免には最大限の配慮をしていかなければいけないというのは十分承知させていただいている。ただ一方で、皆様方の中でもスポーツ団体に参加してスポーツ振興に励んでいる委員がいると耳が痛い話になるのかもしれないが、例えば、成人のスポーツ団体が野球場を借りて練習をするといった時に、大体野球場は500円くらいである。それが半額減免で250円になり、250円を10対10のチームで割ると、一人当たりになると10円、20円である。それが50円負担していただけないか、そういった議論をさせていただかないと本来減免で守るべき青少年健全育成団体の利用にも影響する部分も多分に出でてくるような状況である。一方、スポーツ振興といっても、例えば個人でやられているプール、これは一人400円、500円かかるものである。それを同じスポーツを楽しむという状況で見ても、団体で利用されてそこに、さらに減免を受けられると非常に利用者負担というものが安価にかかっているという実情もある。残していく施設を利用者の皆様からも適切に快く利用していただくためには、修繕もしなければならぬ、投資もしなければならぬ、そういった財源を確保するためにも、一定程度負担いただけるようなところからは負担していただきたいという考え方を減免の適用をされている団体の皆様にも説明させていただいて、理解をいただけるのであれば見直しを進めさせていただきたい。

#### 【山岸会長】

- ・良く理解している。前回も多分申し上げているが、吉川体育館は非常に傷んできている。目的外使用とは言わないが、ネットを張っていない状況で球技をやっている。天井が破れたり傷があり、床も最近白い跡がたくさん付いていて。利用率を上げるのは良いけれど、修繕自体なかなか今のお話でお金が無いと思っているので、利用団体については、その辺をよく考慮していただくようにしていただきたいし、傷めたら自分で申告するように、傷めた団体は申告しないみたいなので。まあ見れば分かるが、傷み方で。その辺は、使う方も襟を正さなければならぬところだが、それを管理する側で適正使用の部分できつく指導いただければと思うのでよろしくお願ひする。

#### 【竹下資産活用課長】

- ・利用者への注意喚起の部分も含めて適切な利用に努めていただくように、市からもまたしっかり通知をさせていただきたいと思う。

**【山岸会長】**

- ・ほかにいかがか。

**【太田委員】**

- ・源小学校の校舎が廃校になっていて、去年も一般の人に使ってもらえるかということをやったみたいだが、その時も意見は出なかったようだが、今回の大雪の中の選挙の時に、屋根の雪が落ちそうで非常に危なくて、本来、体育館の前まで車を入れられるように前日に建設会社が除雪してくれたが、その旧校舎の屋根の雪が落ちると危ないということで、三叉路の道路から歩いて選挙に行った。体育館も良くしてもらって、会議室だとか今またトイレも様式のトイレにしてもらっているということで、せっかく良くしてもらっているが、あそこは避難所になっているので、夏場は雨くらいだったら問題無いかと思うが、ああいう状態になるとなかなか避難所も行けないということで、解体になるのだろうがああいう危険性のある所はなるべく早く壊していただかないと、なかなかお年寄りが歩いても上の雪がいつ落ちるか分からないから通らないでくれというような選挙の現場であった。なので優先順位はあるだろうが、その点を考慮して壊すものは壊していただきたいというふうに思う。

**【竹下資産活用課長】**

- ・貴重なご意見である。所管課なり取り壊しの検討課に伝えて、解体撤去の優先順位をしっかりと検討させていただきたいと考えている。

**【山岸会長】**

- ・除雪ということで総合事務所。お願いします。

**【岩野所長】**

- ・今冬の選挙、そして災害時の雪の対応について説明をさせていただきたい。今回、衆議院解散ということで選挙は2月だった。そして、そこに大雪が重なってあのような状況になったが、事務所としてもそこはすごく注視していて、危険のある中でやはり選挙でそこに行かせるというのはどうかというところもあったが、源地区に関しては、それ以外に選挙を行える場所、投票所として使える場所が無いということで、除雪をお願いしたり屋根雪が危ないということで急遽事務所職員を配置

し、乗り入れを中止してもらったりというような対応を取らせていただいた。ここ何十年は、大雪の中の選挙というのは無かったので、そういう視点というのが少し不足していた部分はあるかと思うが、今、太田委員から選挙ばかりでなく災害時はどうなのかということもあるので、私どもも皆さんからいただいた意見を担当課につなげながら、また、安全確保しながら取組を行っていきたいと考えているのでよろしくお願いします。

**【山岸会長】**

- ・ほかにいかがか。

(発言なし)

- ・無いようなので、この件に関しては以上にする。

**【竹下資産活用課長】**

- ・引き続き、私もまた説明に上がらせていただくがよろしくお願いします。

(資産活用課長が退席)

**【山岸会長】**

- ・それでは、続けて事務局をお願いします。

**【山本次長】**

- ・続いて、令和8年度の地域独自の予算事業の一覧について報告する。

(資料2により説明)

**【山岸会長】**

- ・今ほどの報告について、意見、質問をお願いします。いかがか。

(発言なし)

- ・では、無いようなので報告事項は以上となる。

- ・次第の4自主的な審議に移る。自主的審議の(1)、消火栓の在り方と有効活用について皆さんに諮りたいと思う。先ほど、挨拶でも申し上げたが、小菅市長との直接直談判ではないが、使えるようにというような話は私も申請させていただいたが、その場の言葉を使わせてもらおうと、職員は皆さんのことを心配しているのだというような話、要は怪我をしないようにというか、使う人の心配をしているのだという話だった。あとは、吉川区と例えば高田中心部の方の人と同じ消火栓に対する捉え方をしていないということを言っていた。私らが求めているのは、一律にこの28区に消火栓の使用うんぬんということを決めること自体が無理があると。やはり

区ごと地域ごとに使い方の範囲や決めがあって当たり前ではないかというのが我々の考えであるわけである。一番の大元は、市民が不安に思っていることを取り除こうということが一番大事だと思っているので、それをそのまま、ほっとしている状態に今あるのが、本当に困った状態なわけである。今後の進め方として皆さんから直接アイデアも含めて何回かやり取りしているが、どのような進め方があるのか、あるいはこういう方向性でどうかというのがあれば、お話ししたいと思っている。今日、方面隊長はいないが、消防団員はなかなか日常はいないし、災害、火災時にいるとも限らない。消防署は、頸北消防署があるが、場所によっては5分、10分では到着しない。その初期消火の捉え方にもいろいろあるが、ただ、有るものが使えない状況があるということが問題だというのが、吉川区の訴えであるので、これについて今後とも市長筆頭をお願いしていかなくてはならない。これ、議事録に残るのであえて言うが、こういうやり取りしているうちに本当にどこかで大火災が発生してしまった場合に、使うなというから出せなかったということはないとは思いますが、今の現状では使うなという状況なので、そうなったらどなたが責任を取るのかということをお願いしたいと思うし、責任なんて取れない。その消火活動で怪我をしたらその訴えがあったらどうのこうのという部分は心配があるのだろうが、私はやはり自己責任だと思う。使うなという状況の中で使うわけだから。でも、使わなければ1軒で済んだのが2軒になる、半焼で済んだものが全焼になる、林野火災なら入り口で止められたのが、ずっと奥まで広がって大火災に発展する、往々にしてありかねない。そういうことが起きる前に何らかの手立てはできないものか。だから、区ごとでいいのではないかと思うのだが、私らの考えとしては。このモデル地区をどうかという話も実はしたが、吉川だけというわけにはいかななくなるとおっしゃった。当然そうである。ほかでもそういう要請が出ればモデル地区とすれば良いことだと私は思う。私ら、4年くらい前までは各最寄り最寄りで、消防団と一緒に初期消火訓練をしている。ずっとしてきている。なおかつ、消防団OBは、ほとんど集落の中にいるので、状況的には非常に良い状況が保てていると思う。そういうことも含めて今後の進め方を皆さんから話していただければと思うがいかがか。

【岩野所長】

・会長。

【山岸会長】

- ・総合事務所長。

#### 【岩野所長】

・今ほど会長からお話のあったとおり、吉川区の地域協議会では消火栓の使用という部分について、自主的審議事項ということで今まで議論してきた。今ほど会長と市長の懇談の中でのやり取りというところを会長からお話をいただいたが、事務所からは、この議論をしていく上での情報ということで1つ話をさせていただきたいと思っている。良いとか悪いとかということではなくて、1つの状況、情報を伝えるということで捉えていただきたいと思います。現在、市議会では3月定例会を実施している。予算の審議等々があり、実はその中で3月11日に総務常任委員会で防災危機管理部の予算審査があった。その中で、橋爪市議が今ほど消火栓使用の検討はどうしたという質問をしている。これに関しては、12月定例議会の一般質問で橋爪市議から同じような質問をされて、その際、市長から吉川区地域協議会の自主的審議事項としてこの案件が審議されていることはもちろん承知していると、自らの地域は自らの手で守りたいという強い意思の表れでもあるということを理解している。その中で今後、常備消防及び消防団の知見を得ながら、市民による消火栓使用の必要性を検討していくということで答弁をされている。この答弁について、今回3月の常任委員会の中で、橋爪市議がその確認というか、今後どうやって検討していくのだと、何をどうというような、そんな質問をされた。その中で市川部長が、来年度に向けて、モデル地区というのと専門家を入れるという提案も含め、地域の声を踏まえた消火栓使用の必要性の是非をしっかりと検討していくという答弁をしているということを皆様に情報としてお伝えさせていただく。

#### 【山岸会長】

・そういうことだという市川部長の答弁だが、それはそうしてもらわなければいけないし、この話は当初検討すると言っているから様子を見たらという意見もいくつか出ていたとは思いますが、我々として何ができるかですと取り組んできている。行政は、当然そういうふうに対応していただかなければいけないけれども、我々はそれはそれとして今後どうするか。それを待つて何もしていないのか。それとも、どうなのか。皆さんの考えを聞きたい。自発的な挙手がなければ、全員に発言をお願いするようになるが。いかがか。

#### 【関澤委員】

・今の所長の話では、吉川区の協議会で、一般の人でも使用できる、そういう形の中で

専門家と相談しているという話ですか、今の現状、動きは。

**【山岸会長】**

- ・所長、お願いします。

**【岩野所長】**

- ・消火栓の利用ができるということでの検討ではなくて、専門家を入れてと言っているのは、モデル地区という提案もあったし、専門家を入れて関係者で議論していくというそういう提案もあったと。それは橋爪市議から提案をいただいているもので、そこも含めていろいろな角度から消火栓利用について検討していくと。なので、使う使わないということではなくて、まずはどのようなことができるのかということを検討していくという話だというふうに私は思っている。それで、来年度もそういうことを踏まえて令和8年度も検討していく。一応、委員会の中で部長は、期限はいつということとは言えないけれどもという話はしていたが、ただ、期限は別にしても、来年度にきちんと検討していくという言葉が議会の委員会で発言しているので、そこは進んでいくと思っている。

**【関澤委員】**

- ・モデル地区にするという話も聞いたような話なのだが、そういうモデル地区という話は全然進展していないというか、そんな現状なのか。

**【岩野所長】**

- ・モデル地区にする、吉川区をモデル地区にするということは決定されているものではないし、そういうモデル地区というのも一つの在りようとしてあるのではないかと、そこを含めて検討していくという話になっていくと思う。

**【橋爪委員】**

- ・市としては今そういう提案なので、私の進め方としては、その検討、議論を早くしてもらおうためのことをどうやって進めるか、橋爪議員を通してお願いしますのか、頸北4地区の協議会の会長が集まってどうするのかという話し合いを進めた方がいいのかと。その中で吉川区をモデル地区とかそういうのではなくて、私は山間部とかそういう密集地を抱えたところの各地区で定めて、そこに市からの資金を入れていただいて、40ミリホースの設置だとかそういうものをやってみてはどうかと。吉川区全部でやるよりも、まず頸北4区だとかそういうところで、どこでモデルを作るかということをお話し合っていた方がいいのかと思っている。

**【山岸会長】**

- ・意見として受け止めた。4区の正副会長ともまた会うことがあるので、その旨を相談させてもらう。ほかにいかがか。

#### 【太田委員】

- ・これ、多分ずっと水かけ論で行くのではないかという気はするのだが、結局、私も前に言ったことがあるが、事故が起きた時の責任を誰が取るかというところが焦点になってきているのかと思う。それで使って良いか、今はだめだということになっているが、言い方は良くないかもしれないがそこら辺をグレーゾーンにして、ただ、使った事故に対しては自己責任、あるいは個人の責任、市は責任を負わないという文言でまず入って行って、使ってはだめというのもあくまで触ってはいけないとか使ってはいけないという話になろうかと思うが、そこだと多分結果はいつまでたっても、よっぽど初期消火しなかったために大変な人災が起きたとか、大変な災害が起きたということにでもならない限り、多分私はこの話はこっち側に向いてこないと思うので、責任の所在はグレーぐらいにしておいて、使ってはだめだというのを省いて、使った人の事故については自己責任で、使った人の事故は市は責任を負わないというような文言で向かうのも、何かうやむやな変な言い方だが、それも一つ前に出た方法ではないかとは思う。今の話だともう使ってはだめだと、使わせないというところではっきり境ができてしまっているのです、その辺だと私の考えとしては前に出ないのかなということ。それも良いのか。グレーゾーンというのは言い方が良くないけれども、一つ前に出すにはそれも方法かなと思った。

#### 【山岸会長】

- ・その自己責任という部分を市で明許してもらうというか、そっちの方で考えていただけないかということをごちからから投げかけるということか。太田委員の意見を受け止めた。

#### 【関澤委員】

- ・私が聞きたいのは、なぜ一般の人は使ってはいけないのかと、その根拠を教えてもらいたい。だから、最初の説明では、サンダル履きでヘルメットもしないで消火栓を使ったと。そんな馬鹿なことをする人がいるかと。消火栓を使うにはやっぱり大人4、5人が寄って、慎重な形で、ヘルメットがあるからヘルメットをかぶるし、必要ならカッパくらい着て、みんなで作るのは常識なんだと。そんなことをどうのこうのなくしてなぜだめなのか、その根拠を私は知りたい、はっきり言って。どこ

に根拠があつてだめなのかということ。

**【山岸会長】**

- ・関澤委員。事務局に向かって話しているから答えを求めているのか。ちょっと違うと思う。確か以前にそのやり取りをしている。なぜだめなのかというのは、向こうは向こうの言い方をしている。

**【関澤委員】**

- ・今、所長に向かって話したが、所長に言っているのではない。市の皆さんになぜだめなのか、それを聞きたいと。

**【山岸会長】**

- ・我々は市長に直接、意見書という形しかないが、述べることができる立場にあるので、今の話も含めてどういうふうに表現していくか。

**【関澤委員】**

- ・なぜだめなのか。そうなれば、はっきり言って市長に直訴する。手紙で、文書で、なぜだめなんだと。私たちは上越市民だから、ちゃんと市の税金を納めている。滞納もしていない、真面目にやっている。それが、一般市民が、要するに、そういう初期消火の段階で、とにかく類焼を招いたり、それを止めようとする。要するに、逆に行政側に協力していると言っているのだ、我々は。それが何がだめなのか、それが私は分からない。

**【山岸会長】**

- ・その話をやる場面は、シンポジウムを一回開いたが、肝心の消防局と消防団長は公務多忙ということで出席は、確か2か月近く前に案内を出したがだめだったので。行政も含めて今のやり取りしたいということになれば、またもう一回、向こうのスケジュールに合わせて開くということもあり得るところである。それはそういうことで、今この場でそれ以上は進まないのでもよろしいか。

**【関澤委員】**

- ・もう一回、市の皆さんを呼んで、なぜだめなのかとそれを聞きたい。それだけなのだ、問題は。何も無い。

**【山岸会長】**

- ・ほかにいかがか。新部委員。身内が同じ長峰にいるので情報が入ったのだが、格納箱のホースを入れ替えるという話があるそうで、その辺ちょっと聞かせてほしい。

**【新部委員】**

- ・町内会の予算でとりあえずホースだけは買うことにした。長峰にも 6 か所消火栓があるのだが、消防団の人に言わせるともうほとんどホースは使えない状態。買おう買おうと言っていたがなかなかお金が無くて買えなくて、今年からいくらか予算をつけて買うということで始めた。3年計画くらいで少しずつ補充しようということである。でも、それを誰が使うかとか、地域協議会でこういうふうに話していること自体は、あまり前提にはなっていないが、とにかく無ければ困ると、何かあった時にはホースが無いのでは困るというそれだけである。だから使わない使えないという話が地域協議会で出ているという話はしたが、あまりピンときていない。いざとなったら使うというふうな気持ちなのだろう。

#### 【山岸会長】

- ・ほかの町内会も多分そういうところもあるかと思う。これも繰り返しになるが、点検すらできない状況なのだが、ホースは 10 年という一応の耐用年数があるので、全然使わないで格納箱に入りっぱなしでも交換が必要。水を通しても 10 年経ってもなんともないなら良いのだが、それ自体できない状況である。委員から意見を承ったけれども、これといってこれから具体的にどうのこうのという話はなかったようであるが。議会も橋爪議員だけではなくて、実は、ほかの市議も時折、質疑に入れていただいているということは現実であるが、このままいくと、年度が変わってどのように進展するかというのは、明確に本当に出てくれればありがたいのだが。何月を目途に結論を出すとかという、そういうことで出てくれればありがたいが、ずっと検討してまいりますので終わってしまう可能性も無きにしも非ずなので。

#### 【薄波副会長】

- ・1 回意見書を出して回答をいただいているので、同じような意見書を出すことはまず無理だと思うので、今、議会でそういう状況なので、地域協議会としてはその状況を確認するような動きをこれからしていくべきではないかと思う。ある一定の期間ごとにどういう状況、検討状況なのか、そういう委員会を立ち上げたのかどうかも含めて、その中で地域協議会としても推進していくような、後押しをしていく動きをしていったら良いかと思う。皆さんご存知かもしれないが、NHKで糸魚川市の防災体制の放送がされた。非常にNHKが評価、高評価をしていたということである。なので、全国的にもそういう状況に流れているので、ご存知の地域もいろいろあると思うので、そういうところも紹介しながら進めていければ良いと思うし、今の新部委員のホースを買うという話だが、消防団はホースを使わない、買っ

ても。

**【新部委員】**

- ・消防団は消防団のホースがあるから、そうなのである。

**【薄波副会長】**

- ・それをもし、どういうつもりで買って整備するのか分からないが、だったら使わせるつもりなので整備するのか、あるいは消防団が来た時に延長用として予備として用意しておくのか。

**【新部委員】**

- ・それも話をした。だから、消防団は持っているから、もし使うとしても延長用だという話はした。結局、地域協議会として今こんな状況でという話があったので、実際に使うというのはどういう状況なのかと。結局無いと困るというか、何かあった時にはどうするのかという話はある。

**【薄波副会長】**

- ・だとしたら、40 ミリホースを買った方が良いと思う。

**【山岸会長】**

- ・ほかに意見は出たか。今の薄波副会長の話が一番妥当かと実は私も聞いて思っているのだが、議会の後押しではないが今後検討していく。こちらで期限という言葉は使えないかもしれないが、文書はあまり私も文書力がないので良い言葉は出てこないが、前向きに検討ではなくて、どういう結果になるかはっきりしてほしいというような、そういう要請というか、意見書しかないのか、やはり。こういうのをいかがか。もう検討するという事は聞いているので、公の場で。その検討をいつまでという部分を明確にさせていただきたいというような、そういう意見書ってどんなものなのか。

**【新部委員】**

- ・私もその辺は詳しくないが、一つの方法としては諮問という形でもう一度出してはどうか。キャッチボールだと思う、結局。市側と地域協議会のキャッチボールなので、ボールを投げれば何らかの形のアクションがあるかもわからないが、今のところはボールを投げていない。ボールを向こうから投げ返してきたわけなので、諮問答申があつて。その状況で待つか、それとも何らかの形のボールを投げてみるかという。中味としてその諮問の形の内容は同じなので結局、文書を変えるくらいだろうが、消火栓の有効活用、使用させろという意味合いは同じなので、あとは文書が

変わるという話なのである。要は、再びその諮問をするか、その状況を確認するというので、まあ1か月待つか、ちょうど4月なので、ちょうどタイミング的には動く可能性はある。メンバーが代わったり、市長もちょうど代わっているタイミングなので。メンバーが代わると全然変わってくる可能性もあるし、予算措置は、結局私よく分からないけど予算措置とは何の予算か。ホースを買ってくれるわけでもないが、訓練の予算とかそういうことなのか。

**【山岸会長】**

- ・今の質問、予算措置という、市議会の中で橋爪市議が質問した言葉だと思うが、私の聞いているのは、消火栓を冬期用に重ね上げていく、立ち上がった1つで終わっている消火栓を豪雪の地に合うような形にする、例えばそういう部分の予算措置だというふうに私は聞いた。その辺、事務局で分かるか。

**【岩野所長】**

- ・今の消火栓の予算措置というのは、会長の言われたことで良いと思う。今、地上式から多雪型に変えてきているので、その部分がまだ平場の方は変わっていないということもあり、更新する際には多雪型ということで、そういう予算措置をしていると聞いている。

**【山岸会長】**

- ・ということである。予算についてはそういうことなので、我々が求めているものとちょっと違う、予算措置はそういうこと。それに関連して橋爪市議が確認していただいたということだと思うが、なので私達は、市長に正式に申し上げるのは意見書という形しかないので、言葉を選んでできるだけ明確にどの時期に結論を出してくれるのか要請をかけられないものか。

**【武藤委員】**

- ・要望書というのがあるのか。

**【山岸会長】**

- ・協議会で要望書という形は、あまり適当ではないと思う。

**【岩野所長】**

- ・先ほど会長がおっしゃられたとおり、地域協議会から市長に言えるというか、提案という言い方もおかしいが、意見書という形でしかない。今ほどの話を聞いている中で、意見書を1度出してその回答が来ているということで、意見書を出すにしても内容を変えないとという話だったと思っている。意見書を1回出したからもう

出せないという決まりはないので、吉川区地域協議会として何を意見で上げたいのかというところを整理すれば上げることは可能と思っている。

**【山岸会長】**

- ・繰り返すが、不安に思っている住民が大勢いるということである。そこを大事に捉えなくてはいけないと思っている。そこに我々が動かないようだったら地域協議会の意味はない。その不安を取り除くのは、本来は行政がそういう不安を与えたらまずい立場なのに、使うなど堅くなに言っているわけである。そこを検討するなら前向きに検討していただいて、明確に何月頃までにはお願いできないものかというような意見書になるのかなと思うのだが。それぐらい、どうか。言葉等々は事務局と相談して。何かあるか、関澤委員。

**【関澤委員】**

- ・もう1回意見書を出せば良い。出しても良いと言う。何回も出してみる、それで良い、はっきり言って。あきれ返るほど。根気良く出さないとダメだ、私の意見は。

**【岩野所長】**

- ・今ほど、何回もというところも可能性としてはあるのかというふうに思うけれども、先ほど薄波副会長からの話で、要は検討していくということであれば、その進捗状況ということの確認という話だと思う。そういう部分であれば意見書ということではなくて、市長も12月の議会の答弁の中で、吉川区地域協議会との対話を続けていくということをお返している、そこは意見書ではなくて、例えば、また来てもらってどうだとか、総合事務所の方から、こういう意見が地域協議会から上がっているということに関して回答というか、それらの部分を書面でなくても担当課とはやり取りは何回もできるかなというふうには思っている。意見書という形が良いのか、それともそうではなくて地域協議会の中でのやり取りというところで捉えるのかということも含めて検討いただければと思う。

**【山岸会長】**

- ・意見書という形が最終的にはあるが、その前に所長が言った、まずは事務局と市側でその話をしてもらおうということと、もう1回危機管理課に、今度4月になったら部長にまた来てもらって、改めて今のような詰めの話を見せてもらって、その上で埒が明かなかったら意見書ということではいかかがか。

**【薄波副会長】**

- ・消防団の再編成の際に、3代目の所長がいた時に、いろいろとこの地域協議会の

場に来てもらって説明してほしいという話を何度もしたのだが、なかなか実現できなかったという過去がある。今回は、そんなことはないと思うが、ぜひ我々の要望を聞いていただいて、前向きにその辺の相談に乗って、納得できる話し合いができるかと思うのでよろしくお願いします。

**【山岸会長】**

- ・今の話、分かるか。消防団再編の時の話で、本当に私ら動いたのだが、全然何も変わらなかったことがあったので。では、皆さんよろしいか。そういう形でまず事務局からも対応してもらったり、来月もし都合が良ければ定例会に危機管理部長以下担当を呼んで、もう一度やり取りさせてもらおう。そういう方向でお願いしてみたいと思うがいかがか。

(賛同の声あり)

- ・了解をいただいているということで。事務局、そのようにお願いしたいが。

**【岩野所長】**

- ・危機管理課と話をさせてもらうが、4月となると年度始めということもあるし、皆さんご承知のとおり、部長も代わる。ここだけ1つということではなく、全市ということを抑える必要があり、ただ全市を回らなければならないというわけではないが、取組とか確認をしていくという中では、4月がともすると多忙すぎてというところはあるかと思うので、その部分については春先5月というところも少し期間を見ていただければと思っている。

**【山岸会長】**

- ・できるだけ早めに来ていただきたいし、まずは最初に吉川に来てもらいたい。では、その向きでお願いします。
- ・次に、地域の宝、道の駅と尾神岳観光の進展については、道の駅の活性化の部分では、活性化委員会がほとんど開かれなくて終わったので、新年度以降になるかと思うが。今月、元のアイスクリーム工場が改築終了すると思う。新たに案内所になるのだが、今の四季菜の郷の同じ建屋の中に案内所があって、そこに大乘寺さんの写真撮り用のパネルも置いてあるので、皆さんもたまには覗いて見てほしい。今日も観光バスが1台入っていた。杜氏の郷に来たのかどうか分からないが、それなりに人の流れもあるみたいである。これからゴールデンウィークに向かうと車中泊も含めて、あの辺に結構車が停まっている状況もあるので、改めてまた活性化委員会をお願いしたいと思っている。その辺で何か皆さんの方でアイデアはないか。前に

一つ進めるために。

**【橋爪委員】**

- ・道の駅については、緑地は草が生えているという感じである。もう伸びてしまうと非常に手間もかかるし、自由に遊んでくださいという状態ではないと思う。せつかくなので、どのくらいのお金が掛かるか知らないが、アスファルトにするとせつかくの土の所が台無しになるので、ぜひ、平らにして芝生にしてもらいたい。それでちょっと水はけを良くしてもらえれば、もうちょっとお子さんとか家族とかが来て、今も来ていらっしゃる人がいると聞いているけど、今ではなくて暖かくなってから。草刈りも酒祭りの前に山岸会長に協力いただいてやっているが、もう結構伸びた状態で足が引っかかるくらい伸びる。そういう意味では、あそこを直すだけでも人の集まりやすい状態になるのではないかと思うので、まずあそこから思っている。

**【山岸会長】**

- ・実はそれ活性化委員会でも言っているが、豆を植えるのは良いが最終的に草むらになってしまうので、ああいう無駄な経費は止めた方が良いのではないかと申し上げている。芝生のことはアンケートにも確かにあったし、せめてあそこを平坦地にして、草なら刈っておけば、人が入ろうと思えばいくらでも入るので。まあ、キャンプはどうするのか、斉藤委員。正式にどこへ申し込めば良いのか、事務局。あれを使わせていただくような。

**【山本次長】**

- ・確認をさせていただきたい。

**【山岸会長】**

- ・あの緑地あたりでやれば良いと思うので。だから5月に連休になると、オートキャンプ場みたいな形になるのが良いのではないかと思っているし、駐車場にはたくさん車が停まっている状況があるので。今、橋爪委員が言われたように話をさせていただきたいと思っている。ほかに、尾神観光も含めていかがか、これからの進め方。あの道は市道なのである。退避所が足りない道路の幅がないと言ったら、U字溝に蓋を被せたという話はあるのだが、待避所を増やしたいと、こういうのはどこへ話を持って行けば良いのか、事務局。

**【山本次長】**

- ・市道の改修は、市道の管理課になる。ただ、尾神岳の市道避難帯となると、市道の

全面改修の可能性もあるので、なかなか簡単に進まないという思いがある。

**【山岸会長】**

- ・なかなか使用頻度というか交通量も含めて、だいぶ後になってしまうと思う、優先順位からするとそうになってしまうのは良く承知しているけれど。しかし、住民の皆さんが大事だと思っている尾神岳、あそこに人が上がれるように、車でずっと上がれるようにするには道の整備が必要であるし。確か枝木の刈り込みは、回数を増やしていただいている気がするけれど。いずれにしても、まだすれ違い場所も少ないし、カーブミラーもまだ無くなったままの所も確か1カ所あった、そんなものも含めて、事務所ですつないでいただけないか。結果はともかく。

**【山本次長】**

- ・ご意見は、担当課に伝えるようにする。

**【山岸会長】**

- ・お願いします。

**【橋爪委員】**

- ・以前に、学生か誰か若い人が金を集めてキャンプ場で何かやりたいという話がここで出たと思うが、何か聞いているか。

**【薄波副会長】**

- ・あれは、クラウドファンディングをやろうという人が1人いたということで、その後には話は入ってないし伺っていない。

**【山岸会長】**

- ・では、もう1つ武藤委員から話があった学校関係だが。この間、部活動の民間移行というか、部活動を学校では一般市民の人に委ねていくという流れがあって、正式に土日、祝日は一切やらないで平日のみやっているということである。吉川中学校に今あるのは、部としてあるのは吹奏楽、剣道、陸上、テニス、その4つだが、学校長曰く、2年間実際に活動がない部に関しては、廃部していくというようなことを言われた。お会いする機会があつて。その関係で行って今後の話をさせてもらった。結果、教育委員会に確認してゴーサインが出れば、次年度に我々と保護者の意見交換の場を何らかの機会にしても良い、ということになるかもしれないぐらいな話なのだが、今はそんな状況である。先ほど公の施設の担当課が来て話があつたが、中学校の統合の話もあつたが、吉川もそれも含めてどういう形がいいのか、中学校だけじゃなくて小学校であるが。非常に心配するところだが、まずは実際に保

護者の皆さんと意見交換したいし、アンケートはどんなものか、アンケートを出したらどうか。こういう関係はまだまだもちろん教育委員会も動いていないはずであるし、我々が動くのはどうなのか。これは数年前の保育所統合と全く違う流れである。数年前の保育所統合は、行政側から話があって動いたらしいが、我々は武藤委員の発案からである。

**【武藤委員】**

- ・私の発案ではなくて、私の同級生である。

**【山岸会長】**

- ・いずれにしろ、我々の立場としては、今後、子どもたちがこれだけ減ってきているから行政側としてはやはり統合、合併ということを考えざるを得ないわけである。学校が地域から無くなると非常に寂しいのだが、実際にこれから保育園と小学校に上がる予備軍、小学校、中学校の予備軍の保護者の皆さんがどういうふうに捉えているのかをやはり把握する必要があるし、上越市自体が少子化になっているが、まだ施策が足りないのか、子育て支援が。皆さん、この件に関しては今後の進め方どのようにするか。武藤委員、いかがか。せっかく良い話をいただいたので。

**【武藤委員】**

- ・なれば良いに越したことはないが、良いことばかりで悪いことはまず無いのではないかと、という提案者の話であったので。小学生の下級生のお兄さん、お姉さんの生活態度を見てそれを学ぶとか、そういうところも良いのではないかと。

**【山岸会長】**

- ・それは小中一貫ということか。具体的には、来年度 4 月以降、新年度になってから、そういう機会をなんとか作るという動きでよろしいか。

**【武藤委員】**

- ・はい。

**【山岸会長】**

- ・小学校、保育園もそうだが、そういう向きで前に進めて良いか。了解を取らなくてはならない。中学校はそういうことで、教育委員会に確認してからということになっている。ではそのように進めるがよろしいか。

(賛同の声あり)

- ・ではまた、学校長、保育園長と話をさせてもらうので、そちらでまた動きが出れば皆さんにつなぎたいと思う。ここままで皆さんの方で何か意見があれば。

### 【新部委員】

- ・意見でも何でもないので、1分だけ。地域独自の予算事業で予算をもらっている長峰城址保存活用事業だが、3月22日の日曜日に雪割草の見学会を行う。ゆっつりの郷が主催で、申込みの締め切りが21日土曜日の10時までになっている。だからまだ申込みできるので、会費500円で興味のある人はぜひ。グーグル検索で長峰城址、雪割草と検索すれば、パンフレットもみんな出てくるので詳細はここで見ていただいて、今きれいに咲いているので。お金をつけていただいたので、看板を新しくしたり丈夫なベンチを設置したりいろいろ良くしてもらっているので、ぜひ、興味のある人は来てもらいたい。

### 【山岸会長】

- ・情報提供ありがたいが、できればその他のところでお願いしたかった。では、自主的な審議のその他に移るが、皆さんで自主審議の方向性を見て何か提案などがあればお願いしたいと思うが、いかがか。

(発言なし)

- ・では、この任期の最初の時に皆さんにお話しした、任期4年であるが2年ごとに今の正副会長がそのまま良いか、交代するかという話を皆さんに伺う。過去の委員で、前に話したが、大変お忙しい協議会長がおられて会議がどんどん先送りになっていったことがあった。こういう風な流れをあえて吉川区としては任期4年そのままだったのだが、その時から任期2年で一度皆さんにお諮りしようということにした。今回皆さんに正副会長について、このままでいくか、代えるか、それをお諮りする。

### 【関澤委員】

- ・やはり協議会というのは、前期のいろいろな話もあるもので、もう半期、現状の会長の形でお願いできないものか。それが私の意見である。私事だが、代えるとやはり雰囲気というか、会のやりくりがちょっと狂ってくるというか、そんなような形になろうかと思うので、私は、そのまま継続で4年間お願いしたい。

(同意の声あり)

### 【山岸会長】

- ・それでは、皆さんにとって不足はあると思うが、もう2年、任期満了まで私と薄波委員と認めていただいたということで、務めさせていただくがよろしく願います。

- ・ほかになければ次に移るがよろしいか。では、次第の5その他。委員の方で何かあれば。

(発言なし)

- ・では、私の方で。地域独自の予算事業の一覧に上がったということは予算が通るという予定でいるが、大乘寺歴史伝承保存会として大乘寺集落から事務的な部分を引き継いでやらせてもらい、今年は2回講演会をしてから現地視察に入る予定で計画をしている。1つはもう決まっている。今年は、町田城とそれから町田の古墳を、講演を聞いてから現地視察という予定である。日程とか料金等は改めて案内させてもらうが、とりあえず決まっていることは、今年は町田へ行こうということになっている。また、去年行った古道の道、あすなろ会がやっているタイアップで春日山近辺も周る予定でいるので、これも案内させていただいて都合がつけば、ぜひ、参加をお願いしたいと思っている。もう一つ、転輪寺の草刈りをしている。人を招く以上はきれいにしないといけない、なんとかきれいにしてから見ていただくような形をやっているの、それも良ければ汗を一緒に流してはいかがか。お茶ぐらいしか出ないが、それもお願いしたいと思っている。以上、宣伝する。ほか、よろしいか。では無いようなので、事務局から何かあれば。

#### 【山本次長】

- ・令和8年度の事業別の予算概要と主な行事予定、それと3月13日に4月1日付人事異動内示が出たので内容について、資料により説明させていただきたい。

(当日配布資料：「令和8年度吉川区の主な行事予定」、「令和8年度吉川区事業別予算概要」により説明)

- ・続いて、4月1日付人事異動内示について所長から説明をさせていただく。

#### 【岩野所長】

- ・4月1日付の人事異動内示について簡単に説明をさせていただく。

(当日配布資料：「令和8年4月1日付人事異動内示」により説明)

#### 【山岸会長】

- ・今ほど説明をいただいたが、皆さんの方で。

#### 【橋爪委員】

- ・2つ確認だが、旧竹直小学校解体は体育館と校舎ということで良いか。(了解)
- ・もう1つは予算の35番の小学校大規模改造事業で、民生委員から提案させていただいた件で、小学校の場合、階段しかなくて中に入るにはスロープが無いという

要望を出させていただいて、危機管理課にその要望は伝えてあると聞いているが、この予算の中にそれが入っているかどうか確認なのだが。

**【岩野所長】**

- ・スロープがあるかどうかということだが、今回の小学校大規模改造事業とは、要は屋内待機のための環境整備ということである。なので、気密化、断熱化というところを今捉えてはいるが、スロープがあるかどうかというのは担当課に確認しないと回答はできない状況である。ただ、この大規模改修の部分については、原子力の災害対応ということで国からUPZ内という指定がある。柿崎区と吉川区がUPZ内の学校があるわけだが、柿崎区は小学校が統廃合の部分で検討されているという話の中で、吉川区を先に修繕、改修するという話になっていると聞いている。そして、中学校はどうかということであるが、指定避難所になっているところも一つの選択肢ということである。吉川中学校は指定避難所になっていないので、指定避難所の吉川小学校の大規模改修とそれに合わせて照明をLED化するということが予算計上がされたということでご理解いただければと思う。

**【山岸会長】**

- ・いずれにしても、言われたスロープに関して分かり次第できるだけ早めに委員に知らせていただければありがたい。

**【岩野所長】**

- ・そのようにさせていただく。

**【山岸会長】**

- ・ほかにいかがか。予算もまだ議会を通過して可決していない状況で出していただいたことは非常にありがたい。過去には実は、全て決定してからしか提示がなかったもので。地域協議会としては、地域にどのような予算の配分があるかというのは非常に興味のあるところで、全て決まってからではなくて早めにお問い合わせいただいていたのかなと思って感謝している。

**【岩野所長】**

- ・予算概要をこのタイミングで出したということであるが、おそらく今まではやはりここにも書いてあるとおり、議会の予算議決がないとそれが正式に決まらないというところがあったので、正式に決まったものを地域協議会に提出するという方向性というか考え方だったと思う。私としては議会運営委員会後に外部向けにオープンにされるものなので、当然ホームページにも全部載るということ考

えると、いち早く地域協議会の皆様に吉川区ではこういう事業に予算計上されているというのをお伝えした方が良くはないかという判断に基づいて、今回 3 月の地域協議会に提出させていただいている。

**【山岸会長】**

- ・了解である。早ければ早いほど良い。本当は予算を組み立てる前に、我々と協議してもらえれば一番ありがたいと思う。
- ・転出される職員の挨拶は、改めてあるのか。たまたま正面に顔が見えたので、寂しい限りなのだが。

**【岩野所長】**

- ・地域協議会の皆様への挨拶は、次回 4 月の地域協議会に新しい職員は挨拶をさせていただきたいと思っているが、転出する職員にとってはこれが最後の機会であろうということで、代表して渡邊グループ長から一言ご挨拶をさせていただきたいと思う。

**【渡邊グループ長】**

- ・私は、2 年間、吉川区総合事務所にお世話になった。ここへ来るまで地域協議会には一度も携わったことがなく、第 1 回目の時に「地域協議会は何をやっているのかと良く聞かれる」という話もあったかと思うが、まさに私も同じような状況で地域協議会で何をやるのだろうかというような形でここに座らせていただいていた。この後、柿崎区総合事務所教育・文化グループのグループ長をさせていただくが、グループ長となればまた地域協議会には出させていただけると思うが、ここで勉強させていただいたことを、どれだけ頭に入っているかまた読み返したいが、次の職場でもがんばらせていただきたいと思います。短い時間であったが大変お世話になった。

**【山岸会長】**

- ・こちらこそ大変お世話になった。一回も懇親を図ることなくお別れするが、地元に戻られて同じグループ長ということで、益々のご活躍をお祈りする。
- ・それでは、次の定例会の日程を確認させていただく。次回は 4 月の第 3 木曜日となると 16 日になる。4 月 16 日、木曜日、午後 6 時 30 分からということで予定をお願いしたいと思う。では以上で終わりたいと思うので、最後の挨拶を薄波副会長にお願いする。

**【薄波副会長】**

- ・長時間お疲れ様でした。年度末、年度始めで何かと忙しいとは思いますが、ここに来てコロナとかインフルエンザとかいろいろ流行ってきている。そのほかに花粉症も流行っているというか、大変な状況になっている。ぜひ、体調には気をつけて過ごしてもらいたい。それでは、これで第11回吉川区地域協議会を終了する。

## 11 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-548-2311 (内線 213)

E-mail : yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

## 12 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。